

## 令和3年度完成委託業務 業務担当技術者 事務所長表彰 受賞者のお知らせ

公共工事に関する調査の品質が、公共工事の品質確保を図るうえで重要な役割を持つことから、北陸地方整備局港湾空港部においては、港湾空港関係の測量・調査・設計業務および発注者支援業務の受注者として、その役割を遺憾なく発揮し、積極的かつ円滑に業務を進め、良質な成果の作成に貢献した担当技術者を表彰しています。

この度、新潟港湾空港技術調査事務所発注の令和3年度完成業務における業務担当技術者表彰の受賞者をお知らせします。

受賞者：江野<sup>エノ</sup> 翔紀<sup>ショウキ</sup>

業務名：敦賀港（鞠山北地区）護岸（防波）（改良）詳細検討

受注者：日本工営株式会社 新潟支店

受賞理由： 本業務では、敦賀港鞠山北地区の護岸（防波）B区間（延長90m）の老朽化対策詳細設計を行った。改良断面は老朽化した直立消波ケーソンのスリット部を撤去し、直立消波ブロックに置き換えるものである。

当該護岸は親水性のある護岸で老朽化が著しいため、工事は緊急性を有する一方で、当該対策についての施工事例がなく、また一般的な直立消波ブロック護岸とは外力の作用が異なり、波力評価や構造細目の設定に技術的課題があった。

これに対し、担当技術者は、類似構造の被災事例を収集し、また同時期に実施されていた施工検討業務と連携し、施工における留意点を考慮した上で、作用する波圧やその他細目についての港空研ヒアリングの実施や3次元FEM解析を実施し、断面形状や構造細目を設定した。

上記のとおり、緊急性が高くまた技術的課題が多い中、他方面からの観点を踏まえ、最適な対策案を選定するに至ったことは評価できるものである。